

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212R301	母性看護方法論Ⅱ (Maternal Nursing PracticeⅡ)	専門教育科目 母性看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	3	前期	木・1, 2	猪俣 理恵・小柳 麻央 内線: 5072 E-mail: rie-inomata@

【授業の概要・到達目標】

周産期(産褥・新生児期)の生理的変化およびハイリスク状態の母子とその家族を理解するための知識と援助の基本を学ぶとともに、性・生殖に関わる課題や看護の意味を考え、母性看護の実践に向けた思考の育成・看護技術の習得をめざす。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 産褥・新生児期の生理的変化およびハイリスク状態にある母子について理解し、家族を含めたアセスメントができる。	○		○				
2. 産褥・新生児期において生理的およびハイリスク状態にある母子とその家族へのセルフケア支援を含めた看護について説明できる。	○		○				
3. ライフサイクルを通して、性と生殖に関わる課題や看護について説明できる。	○		○				
4. 妊婦健康診査時・新生児の看護に求められる看護技術の基礎を習得できる。	○	○					

【授業の内容】

1	オリエンテーション
2-4	産褥期の生理と正常逸脱およびそのアセスメント
5-6	褥婦と家族の看護
7-8	新生児の生理と正常逸脱およびそのアセスメントとケア(胎外生活への適応、成長・発達)
9-10	新生児の生理と正常逸脱およびそのアセスメントとケア(栄養・養育、家族適応過程、生活環境)
11	NICUにおける看護の実際(新生児集中ケア認定看護師)
12-13	地域に根ざした母性看護の実際(災害時および国際的な母性看護活動を含む)
14	不妊看護のあゆみと看護者の役割そして課題(非常勤講師:中島洋子先生)
15-18	ライフサイクルを通してみる性と生殖課題(女性生殖器疾患、更年期症状のある患者への看護を含む)
19-22	周産期看護における看護技術・事例展開(演習・技術試験を含む)

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A:知識の定着・確認	○	個人・グループテスト、教員フィードバック	TBL 学習のプロセスを通して主体的な学習活動の場とする。技術演習では、デモンストレーションを行いながら看護技術の根拠を示す。
B:意見の表現・交換	○	グループディスカッション	
C:応用志向	○	チームアピール、応用課題	
D:知識の活用・創造	○	チームアピール、応用課題、演習、レポート	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書および講義で紹介する参考文献を用いて、次回の学習内容について予習する(22h)。
事後学修	講義で学んだ内容を復習する(11h)。母性看護技術習得のため各自練習する。(11h)。

【教科書】

中込さと子 他【編】(2022):ナシグゲヲカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版
 苛原稔 他【編】(2022):ナシグゲヲカ EX 疾患と看護⑨ 女性生殖器 メディカ出版
 医療情報科学研究所【編】(2018):病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科、第4版、メディックメディア
 医療情報科学研究所【編】(2018):病気がみえる vol.10 産科、第4版、メディックメディア

【参考書】 適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
期末試験	80%	○	○	○	
アクションレポート・課題提出	10%	○	○	○	
TBLへの参加・取り組み(ピア評価を含む)	10%	○	○	○	○

【注意事項】 TBL、技術演習では、各自で事前学習を充分に行い積極的に参加すること。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	有	
教員の実務経験	猪俣理恵（看護師・助産師）、小柳麻央（看護師・助産師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	有	
教員以外の指導に関わる実務経験者	石井真由（NICU 認定看護師・助産師）、中島洋子（助産師・不妊カウンセラー）	
実務経験をいかした教育内容	母性看護領域における看護の役割と実際について、臨床事例を紹介しながら説明する。また、母性看護に必要な技術の習得を指導する。	
授業形態	面授授業	